



どうぞのいす

香山美子 作 柿本幸造 絵 ひさかたチャイルド

カキモ

うさぎさんが小さないすを作り、「どうぞのいす」という立て札と一緒に大きな木の下に置きました。すると、ろぼさんがやってきて……。『どうぞ』という簡単な、そして大切な言葉を教えてあげられる絵本です。



ねえさんといもうと

シャーロット・ソロトウ さく マーサ・アレキサンダー エ やがわすみこ やく 福音館書店

アレク

あるところに、ねえさんといもうとがいました。ねえさんは本当にいもうと思いで、いもうとに何でもしてくれるのです。でも、ある日いもうとは、ねえさんから色々言われることに飽きてしまい、こっそり抜け出してしまいました。

どろんこハリ-

ジーン・ジオン ぶん マーガレット・ブレイ・グレアム え わたなべしげお やく 福音館書店

クレア

黒いぶちのある白い犬のハリ-は、おふろが大嫌い。逃げ出して遊んでいると、どろだらけになり、白いぶちのある黒い犬になってしまいました。帰ってきてもお気づいてもらえないハリ-は、ひらめきます。そ、うだ、おふろに入れてもらおう!



ねえ、どれがいい?

ジョン・バーニンガム さく まつかわまゆみ やく 評論社

ハニシ

「もしもだよ!ジャムだらけになると、ドロドロになると、水びたしになるとどれがいい?」……と、こんな調子の質問形式の絵本です。それぞれの絵がとてもユニークです。読み聞かせにはもってこいの、参加型の絵本です。

ねえ、どれがいい?



なつのいちにち

はたこうしろう 偕成社

ハタ

「まってるよ!でっかいクワガタムシ」暑い暑い夏の日、クワガタを目指してぼくは走ります。走って走って、やっとたどりついた木の下で、クワガタと対決するのです。色鮮やかでダイナミックな絵が夏を感じさせます。



はじめてのおつかい

筒井頼子 さく 林 明子 え 福音館書店

ハヤシ

みいちゃんは、ママに150円をもらっておつかいに行きました。坂のてっぺんがお店です。みいちゃんは、あまりに急いでいたので転んでしまいました。まだ幼いみいちゃんのおつかいに行く姿が、表情豊かに描かれています。

にいさんといもうと

シャーロット・ソロトウ 文 メアリ・チャルマーズ 絵 矢川澄子 訳 岩波書店

チャル

兄さんは意地悪をすると言って、いつも妹を泣かせます。でも本当は何もしないのです。最初は泣いてしまう妹も、次第に兄さんが何もしないことがわかってきます。兄と妹の日常が描かれた、ほほえましい絵本です。



はたらきものじょせつしゃけいていー

ばーじにあーりー・ぼーとん ぶんとえ いしいももこ やく 福音館書店

ハトン

けいていーは、キャタピラについている赤い立派なトラクターです。とても強くて大きくて、色々な仕事ができました。みんなけいていーを自慢していました。ある日、大雪が降りました。さあ、けいていーの出番です。



にじいろのさかな

マーカス・フィスター 作 谷川俊太郎 訳 講談社

フィス

虹色のうろこを持ったにじうおは、うろこを独り占めして、誰にも相手にされなくなりました。寂しくなったにじうおがたこに相談すると、うろこを1枚ずつ分けるように言われます。みんなにあげると、宝物は1枚だけになってしまいますが……。



はなのすきなうし

マンロー・リーフ おはなし ロバート・ローソン エ 光吉夏弥 やく 岩波書店

ロソン

スペインの国のお話です。あるところにかわいい子牛がいました。名前をふえるじななどといいました。ふえるじななどは、他の子牛と違って、一日中こかげに座って花のにおいをかいでいます。子牛のゆかいなお話です。

二ひきのこぐま

イーラ 作 松岡享子 訳 こぐま社

イラ

こぐまたちにとって初めての春。躍る心を抑えきれずに遠出をした二匹は、道に迷ってしまいます。そして、すっかり疲れて眠ってしまいました。ふと目を覚ますと……。モノクロ写真のこぐまの表情が、何とも言えず愛くるしい絵本です。



はなをくんくん

ルース・クラウス ぶん マーク・シーモント エ きじまはじめ やく 福音館書店

サイモ

さむい雪の日が続きます。森の動物たちは、みんな穴の中で冬眠しています。やがて目を覚まします。鼻をくんくんさせながら。みんな春の気配を感じたのです。動物たちの様子が、モノクロの絵の中に鮮やかに描かれています。

はなをくんくん

